

第3期あま市国民健康保険データヘルス計画の策定について

1 データヘルス計画について

データヘルス計画（保健事業実施計画）は、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、すべての保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果や、健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するもの。

2 基本目標

心身ともに健康に暮らせるまちの実現のため、生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康寿命の延伸を目指す。

3 経過

第1期計画 平成26(2014)年度～平成29(2017)年度

第2期計画 平成30(2018)年度～令和5(2023)年度

第3期計画 令和6(2024)年度～令和11(2029)年度

4 第2期データヘルス計画の主な進捗と成果

(1) 生活習慣病の早期発見、早期治療による重症化予防

健診未受診者への勧奨通知送付や新規加入者への周知啓発により、特定健康診査（特定健診）受診率、特定保健指導実施率ともに改善傾向にある。

【特定健診受診率と特定保健指導実施率】

種別	年度					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	【暫定値】 令和4年度 (2022年度)	
特定健診 受診率	43.3%	46.4%	42.8%	45.1%	43.4%	48.0%
特定保健指導 実施率	16.3%	18.3%	5.8%	7.8%	13.5%	26.0%

(2) 40歳代からの健康意識の向上

30歳代への周知啓発により、40歳代の特定健診受診率は改善傾向にある。

【40歳代の特定健診受診率】

性別	年度					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	【暫定値】 令和4年度 (2022年度)	
男性	17.4%	22.6%	17.9%	20.9%	18.2%	25.0%
女性	21.4%	27.4%	19.9%	25.8%	23.8%	30.0%

5 第3期データヘルス計画の策定に向けた主な課題

健康・医療情報を活用し、第3期計画の策定に向けた本市の主な課題を、次のとおり分析した。

- ① 「特定健診受診率」(45.1%)は愛知県平均(38.2%)より高いが、「保健指導実施率」(7.8%)は愛知県平均(18.8%)より低い。
- ② 「BMI」「腹囲」「中性脂肪」を含む「メタボリックシンドローム該当者割合」(24.2%)が県平均(21.2%)より高い。
- ③ 「1人当たり医療費」は経年的に増加傾向にあり、特に40歳代(21,241円)が県平均(17,929円)より高い。

6 第3期データヘルス計画における保健事業の実施

分析により把握した健康課題を解決するため、次の保健事業を実施する。

- ・ 特定健康診査事業
- ・ 特定健診受診勧奨事業
- ・ 特定保健指導事業
- ・ 特定保健指導利用勧奨事業
- ・ 医療受診勧奨事業
- ・ 重症化予防事業
- ・ 早期介入による重症化予防事業

7 第3期データヘルス計画のポイント

- ① 厚生労働省の手引きに準じて作成された「データヘルス計画標準化ツール」に沿って策定する。
⇒ 愛知県共通の評価指標により健康状況を経年的に観察でき、市町村間の比較やあま市の特徴を把握し客観化できる。
- ② 評価の視点をアウトプット指標からアウトカム指標へ
⇒ 評価する視点を改め、被保険者の健康増進・疾病予防における健康課題の解決を図る。
- ③ 健康課題に対して、新たに構造的な共通シートを作成
⇒ 現状把握を行う基本的事項シート、優先順位づけを行う分析・課題シート、計画の目的・目標を示した計画全体シート、事業の対象等を示した個別事業シートによる計画策定、評価・見直しを行う。

8 今後のスケジュール

- 1 1月中旬：愛知県国民健康保険団体連合会のヒアリング
- 1月下旬：第3回あま市国民健康保険運営協議会
- 3月下旬：第3期データヘルス計画策定